



デジタル・ディバイド解消戦略会議 について

平成19年10月2日

総務省

総合通信基盤局

開催目的

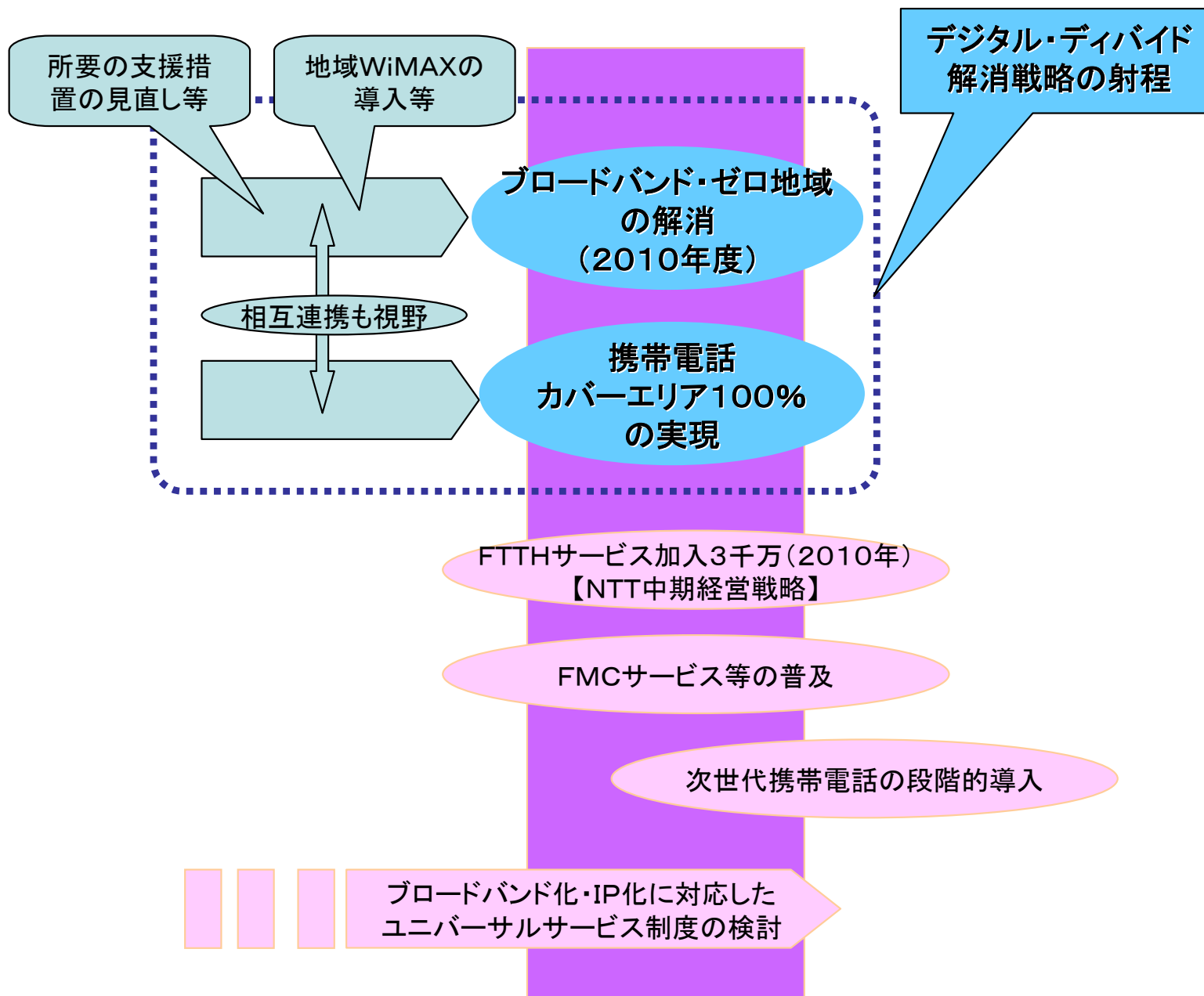
- 2010年度をターゲットとしたブロードバンド・ゼロ地域の解消や、携帯電話不感地帯の解消を実現し、デジタル・ディバイドを解消するための具体的施策について検討を行うことを目的として本会議を開催する。

検討項目

- ブロードバンド基盤整備の困難地域や携帯電話の不感地帯について、以下の検討を行う。
 - ✓ 検討対象地域の特定と課題の抽出
 - ✓ 各地域の課題に対応した政策支援の在り方
 - ✓ 所要の支援策の改善の方向性

開催時期等

- 07年10月～08年3月



ブロードバンド・ゼロ地域解消の目標年限(2010年度)まで残り3年
(残り約4.4%(サービスエリアの世帯カバー率推計による)
についての基盤整備が急務)

携帯電話カバーエリア人口比で99.7%達成
(残り0.3%余りの整備が急務)

各地域ごとの実情(ニーズ、財政状態)などを踏まえた個別対応の必要性の高まり

地域WiMAXや自治体IRUの活用
を含む
アクセス網の多様化

通信事業者、地方自治体等を含む
多様な関係者間の調整
(プロジェクトフォーメーション)
の重要性

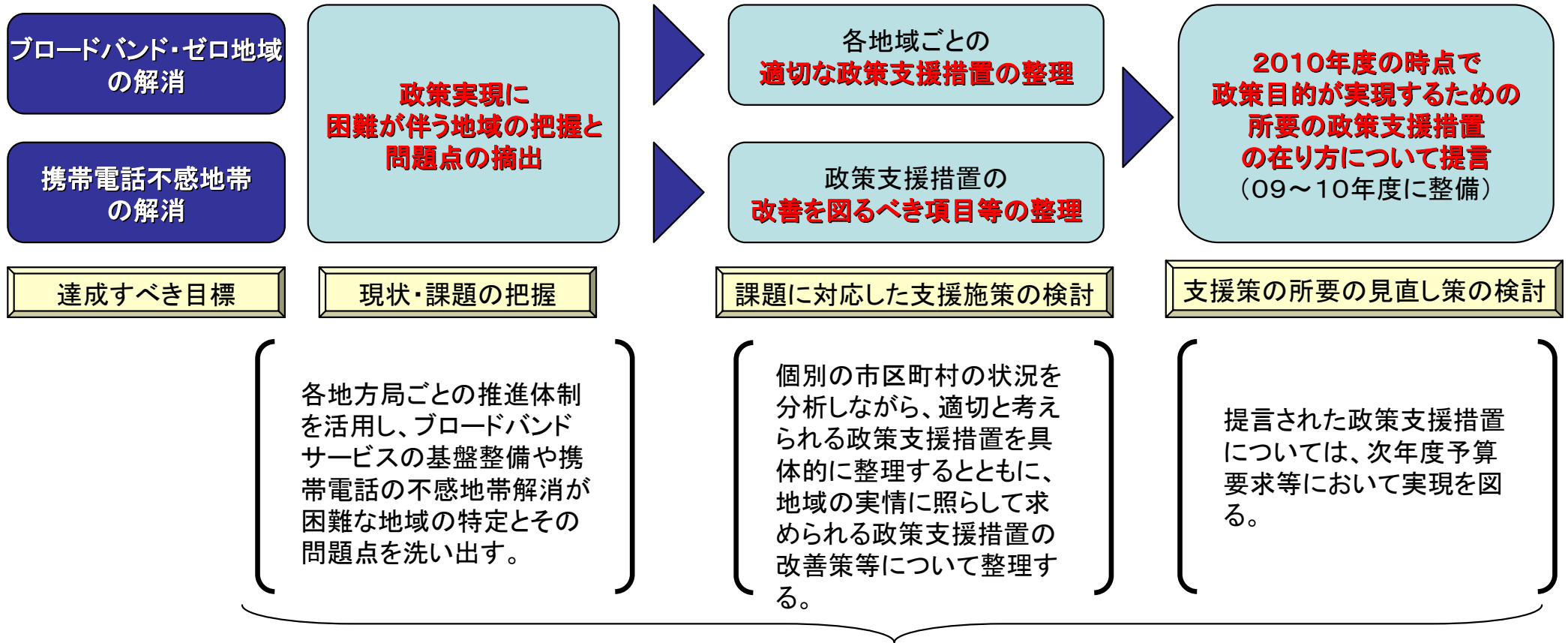
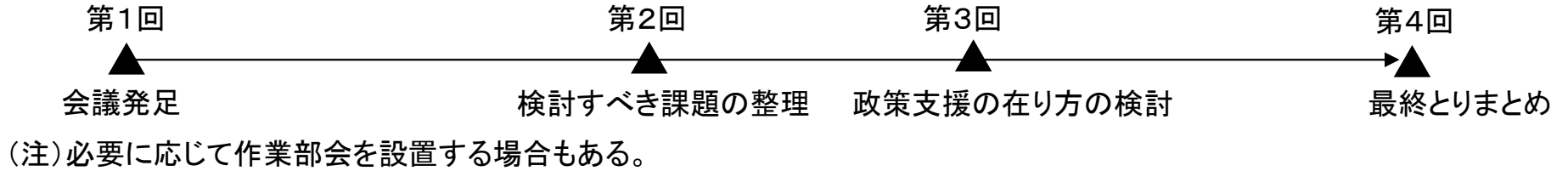
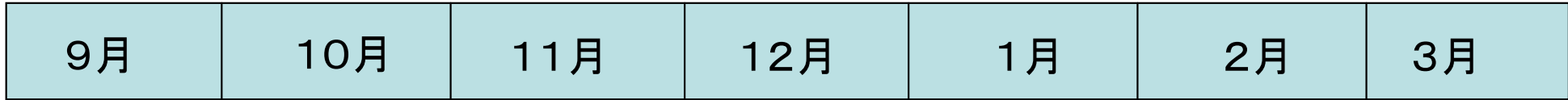
ブロードバンド網の利用等
を含む
エリア拡大手法の多様化

連携

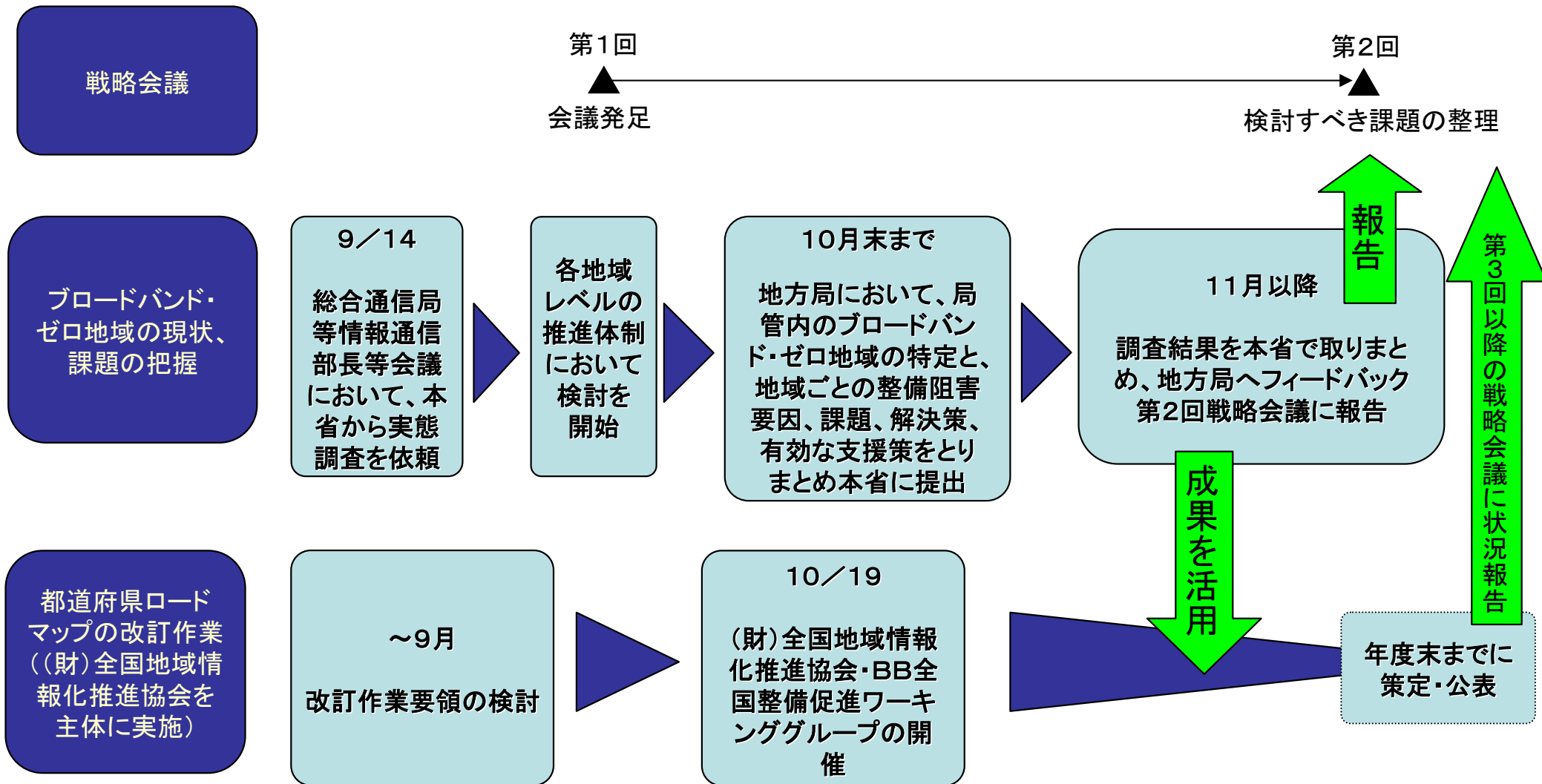
個別地域ごとの課題の抽出

各課題を踏まえた整備メニューの整理、所要の支援策の改善の方向性等の検討

ブロードバンド・ゼロ地域の解消、携帯電話カバーエリア100%の実現



戦略会議と地方局における推進体制で相互にフィードバックしながら具体化を図る。



これらの取組相互の円滑な連携を図るため、事業者、都道府県・市町村等の参加を得た地域レベルの推進体制を、総合通信局主導で改めて強化。